

第1回中高年者縦断調査 （中高年者の生活に関する継続調査）結果の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
I 家族の状況	3
1 配偶者	3
2 配偶者以外の同居者、同居していない親族	4
II 健康の状況	5
1 現在の健康状態	5
2 医師から診断されている病気の有無	5
3 過去1か月間に感じたことの状況	6
4 病気やけがの治療や健康の維持のための費用（平成17年10月中）	7
5 日頃健康維持のために心がけていること	8
III 就業の状況	9
1 ふだんの収入になる仕事の状況	9
2 これまでの働き方	10
3 資格、能力開発等の状況	11
(1) 仕事のための免許・資格取得の有無	11
(2) 取得した免許・資格の種類	11
(3) 仕事のための能力開発・自己啓発の状況	12
IV 60歳以降の生活設計	13
1 生活のまかない方（主なもの3つまで）	13
2 仕事の希望	14
V 社会活動等の状況	15
ふだんの活動の状況	15
VI 住居の状況	16
1 住居の形態	16
2 住宅ローンの有無	16
統計表	17
用語の定義	20

第1回中高年者縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

厚生労働省ホームページ(URL) <http://www.mhlw.go.jp/>

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、団塊の世代を含む全国の中高年齢世代の50歳から59歳の男女を追跡して、その『健康・就業・社会活動』について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握し、高齢者対策等厚生労働行政施策の企画、実施、評価のための基礎資料を得ることを目的として、平成17年度を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成17年10月末現在で50～59歳である全国の男女を対象とし、平成16年国民生活基礎調査の調査地区から無作為抽出した2,515地区内の当該男女を客体とした。

3 調査の期日

平成17年11月2日（水）

4 調査の事項

家族の状況、健康の状況、就業の状況（資格、能力開発を含む。）、社会活動等の状況、住居・家計の状況 等

5 調査の方法及び系統

(1) 調査の方法

あらかじめ調査員が配布した調査票に被調査者が自ら記入し、後日、密封方式により調査員が回収する方法により行った。

(2) 調査の系統

厚生労働省 ———— 都道府県 ———— 保健所 ———— 調査員 ———— 被調査者
 ┌ └
 保健所設置市
 特 別 区

6 結果の集計及び集計客体

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

なお、調査客体数、回収客体数、集計客体数は次のとおりであった。

調査客体数	回収客体数	集計客体数 (集計不能のものを除いた数)
40,877	34,240	33,815

7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

結 果 の 概 要

I 家族の状況

1 配偶者

「配偶者あり」は85.5%、「配偶者なし」は14.1%。

性別に配偶者の有無をみると、男は「配偶者あり」86.7%、「配偶者なし」13.0%、女は「配偶者あり」84.4%、「配偶者なし」15.2%となっている。

年齢階級別に配偶者の状況をみると、「配偶者あり」では「同居している」が、「配偶者なし」では「離婚または死別した」の割合が、「50～54歳」に比べ、「55～59歳」の方が高くなっている。(表1)

表1 性、年齢階級別にみた配偶関係の状況

(単位:%)

	総数		配偶者あり			配偶者なし			不詳
			総数	同居している	別居している	総数	離婚または死別した	配偶者を持たない	
総数	(100.0)	100.0	85.5	83.1	2.4	14.1	8.5	5.6	0.4
			(100.0)	(97.2)	(2.8)	(100.0)	(60.4)	(39.6)	
50～54歳	(46.0)	100.0	85.6	82.9	2.7	14.1	7.5	6.6	0.3
			(100.0)	(96.9)	(3.1)	(100.0)	(53.0)	(47.0)	
55～59歳	(54.0)	100.0	85.5	83.4	2.1	14.1	9.4	4.7	0.4
			(100.0)	(97.6)	(2.4)	(100.0)	(66.6)	(33.4)	
男	(48.5)	100.0	86.7	84.3	2.4	13.0	5.5	7.5	0.3
			(100.0)	(97.2)	(2.8)	(100.0)	(42.5)	(57.5)	
50～54歳	(22.3)	100.0	85.2	82.6	2.7	14.4	5.1	9.2	0.4
			(100.0)	(96.9)	(3.1)	(100.0)	(35.6)	(64.4)	
55～59歳	(26.3)	100.0	87.9	85.7	2.2	11.8	5.8	5.9	0.3
			(100.0)	(97.5)	(2.5)	(100.0)	(49.5)	(50.5)	
女	(51.5)	100.0	84.4	82.1	2.3	15.2	11.4	3.8	0.4
			(100.0)	(97.3)	(2.7)	(100.0)	(74.8)	(25.2)	
50～54歳	(23.7)	100.0	85.8	83.2	2.7	13.9	9.7	4.2	0.2
			(100.0)	(96.9)	(3.1)	(100.0)	(69.9)	(30.1)	
55～59歳	(27.8)	100.0	83.1	81.2	1.9	16.3	12.8	3.6	0.5
			(100.0)	(97.7)	(2.3)	(100.0)	(78.3)	(21.7)	

2 配偶者以外の同居者、同居していない親族

「配偶者以外の同居者」が「いる」72.1%、「同居していない親族」が「いる」73.1%。
 配偶者以外の同居者の続柄をみると、「子」60.4%、「親」28.1%となっている。同居
 していない親族の続柄をみると、「子」56.4%、「親」42.1%となっている。(表2)

表2 性、年齢階級別にみた配偶者以外の同居者、同居していない親族の状況

(単位:%)

	総数	配偶者以外の同居者			同居していない親族		
		いる	続柄(複数回答)		いる	続柄(複数回答)	
			子	親		子	親
総数	100.0	72.1 (100.0)	60.4 (83.8)	28.1 (39.0)	73.1 (100.0)	56.4 (77.2)	42.1 (57.6)
50～54歳	100.0	77.9 (100.0)	66.0 (84.7)	32.6 (41.9)	71.2 (100.0)	48.7 (68.4)	47.0 (65.9)
55～59歳	100.0	67.2 (100.0)	55.7 (82.8)	24.3 (36.2)	74.7 (100.0)	62.9 (84.3)	37.9 (50.8)
男	100.0	73.4 (100.0)	60.6 (82.5)	31.0 (42.2)	69.5 (100.0)	50.4 (72.5)	42.0 (60.4)
50～54歳	100.0	77.7 (100.0)	64.3 (82.8)	35.1 (45.2)	65.8 (100.0)	40.9 (62.1)	45.0 (68.4)
55～59歳	100.0	69.8 (100.0)	57.4 (82.3)	27.5 (39.4)	72.6 (100.0)	58.4 (80.5)	39.4 (54.3)
女	100.0	71.0 (100.0)	60.3 (85.0)	25.4 (35.9)	76.4 (100.0)	62.0 (81.1)	42.2 (55.2)
50～54歳	100.0	78.2 (100.0)	67.7 (86.6)	30.3 (38.8)	76.3 (100.0)	56.0 (73.4)	48.8 (64.0)
55～59歳	100.0	64.8 (100.0)	54.0 (83.3)	21.3 (32.9)	76.6 (100.0)	67.1 (87.6)	36.6 (47.7)

II 健康の状況

1 現在の健康状態

健康状態が「よい」は80.6%、「わるい」は18.6%。

健康状態をみると、「どちらかといえば良い」が41.7%と最も多く、次いで「良い」31.1%となっている。

性別にみると、「よい」の割合は、男に比べ、女の方が高くなっているが、健康状態の内訳でみると、「どちらかといえば良い」以外の割合は、女に比べ、男の方が高くなっている。

年齢階級別にみると、男女ともに「わるい」の割合は「50～54歳」に比べ、「55～59歳」の方が高くなっている。(表3)

表3 性、年齢階級別にみた現在の健康状態

(単位:%)

	総数	よい				わるい				不詳
		総数	大変良い	良い	どちらかといえば良い	総数	どちらかといえば悪い	悪い	大変悪い	
総数	100.0	80.6	7.8	31.1	41.7	18.6	14.0	3.7	1.0	0.8
50～54歳	100.0	82.0	7.7	31.8	42.5	17.3	13.3	3.2	0.7	0.7
55～59歳	100.0	79.4	7.9	30.4	41.0	19.8	14.6	4.0	1.2	0.9
男	100.0	80.0	8.1	31.3	40.5	19.3	14.5	3.7	1.1	0.8
50～54歳	100.0	81.7	8.3	32.5	40.9	17.6	13.6	3.2	0.8	0.6
55～59歳	100.0	78.4	8.0	30.4	40.1	20.7	15.2	4.1	1.4	0.9
女	100.0	81.1	7.5	30.8	42.8	18.0	13.5	3.6	0.9	0.9
50～54歳	100.0	82.2	7.1	31.1	43.9	17.0	13.0	3.3	0.7	0.9
55～59歳	100.0	80.2	7.8	30.5	41.9	18.9	13.9	3.9	1.0	0.9

2 医師から診断されている病気の有無

6つの疾病の中で「高血圧」が17.0%と最も多い。

性別に医師から診断されている病気の有無をみると、「悪性新生物」以外では、「あり」の割合は、女に比べ、男の方が高くなっている。

年齢階級別にみると、男女ともにそれぞれ6つの疾病が「あり」の割合は、「50～54歳」に比べ、「55～59歳」の方が高くなっている。(表4)

表4 性、年齢階級別にみた医師から診断されている病気の有無

(単位:%)

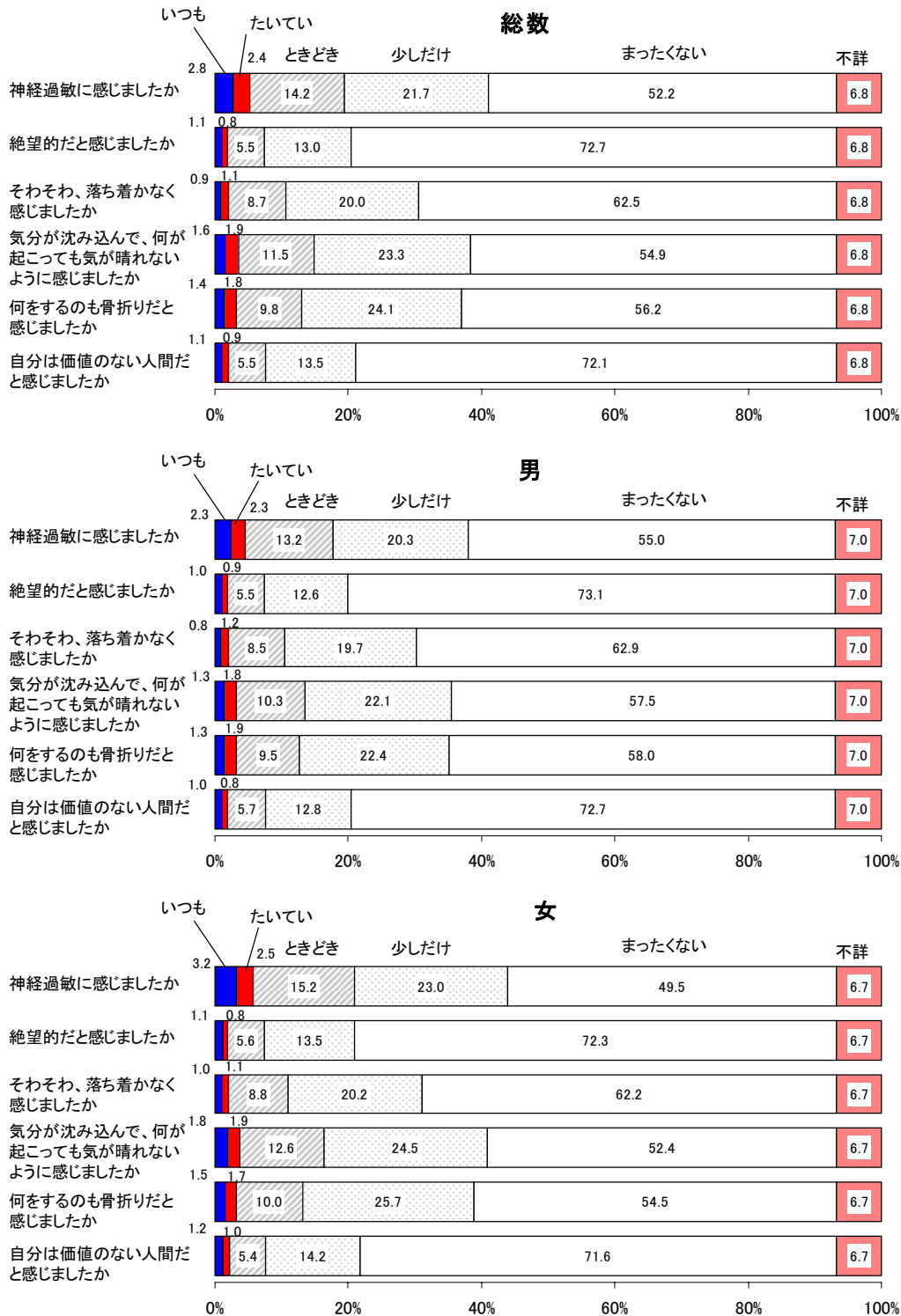
	総数	糖尿病		心臓病		脳卒中		高血圧		高脂血症		悪性新生物	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
総数	100.0	7.0	93.0	2.6	97.4	1.3	98.7	17.0	83.0	8.5	91.5	1.7	98.3
50～54歳	100.0	5.6	94.4	1.9	98.1	0.9	99.1	13.6	86.4	7.0	93.0	1.4	98.6
55～59歳	100.0	8.2	91.8	3.3	96.7	1.6	98.4	20.0	80.0	9.8	90.2	2.0	98.0
男	100.0	9.4	90.6	3.6	96.4	1.6	98.4	18.8	81.2	8.6	91.4	1.4	98.6
50～54歳	100.0	7.5	92.5	2.5	97.5	1.1	98.9	15.6	84.4	8.1	91.9	0.9	99.1
55～59歳	100.0	10.9	89.1	4.5	95.5	2.0	98.0	21.4	78.6	9.1	90.9	1.8	98.2
女	100.0	4.7	95.3	1.8	98.2	0.9	99.1	15.4	84.6	8.5	91.5	2.1	97.9
50～54歳	100.0	3.8	96.2	1.3	98.7	0.6	99.4	11.6	88.4	6.0	94.0	1.9	98.1
55～59歳	100.0	5.6	94.4	2.1	97.9	1.2	98.8	18.6	81.4	10.6	89.4	2.2	97.8

3 過去1か月間に感じたことの状況

6項目の感じたことのうち、3項目でそれぞれ4割程度の者がそのように感じた。

過去1か月間に感じたことの状況をみると、「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」を合わせた「そのように感じた」者の割合が「神経過敏に感じましたか」、「気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか」、「何をするのも骨折りだと感じましたか」の3項目でそれぞれ4割程度となっている。性別にみても、その傾向は変わらない。(図1)

図1 性別にみた過去1か月間に感じたことの状況



4 病気やけがの治療や健康の維持のための費用（平成17年10月中）

年齢階級の高い方が「病気やけがの治療のための費用」や「健康の維持のための費用」を「かけている」割合が高い。

病気やけがの治療のための費用、健康の維持のための費用の有無を性別にみると、「かけている」の割合は、男に比べ、女の方が高くなっている。（表5）

また、「病気やけがの治療のため、健康の維持のために費用をかけた」者についてみると、平均費用は、それぞれ2.0万円、1.7万円となっている。（図2）

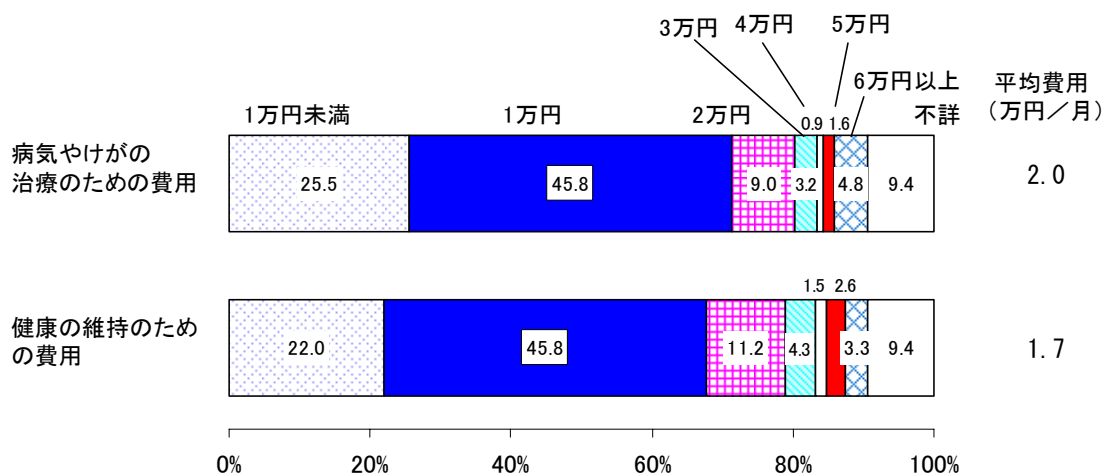
表5 性、年齢階級別にみた病気やけがの治療のための費用、健康の維持のための費用の有無

(単位:%)

	総数	病気やけがの治療のための費用			健康の維持のための費用		
		かけている	かけていない	不詳	かけている	かけていない	不詳
総数	100.0	23.0	75.0	2.0	23.0	75.0	2.0
50～54歳	100.0	21.0	77.4	1.7	22.0	76.3	1.7
55～59歳	100.0	24.7	73.0	2.3	23.7	74.0	2.3
男	100.0	21.3	76.7	1.9	18.6	79.5	1.9
50～54歳	100.0	19.2	79.2	1.6	18.1	80.3	1.6
55～59歳	100.0	23.1	74.7	2.2	19.0	78.7	2.2
女	100.0	24.5	73.4	2.1	27.1	70.9	2.1
50～54歳	100.0	22.6	75.7	1.7	25.8	72.5	1.7
55～59歳	100.0	26.2	71.4	2.4	28.2	69.4	2.4

注:平成17年10月中の費用である。

図2 病気やけがの治療のため、健康の維持のためにかけた費用



注：1）集計対象は、病気やけがの治療や健康の維持のために費用をかけている者である。
 2）平成17年10月中の費用である。

5 日頃健康維持のために心がけていること

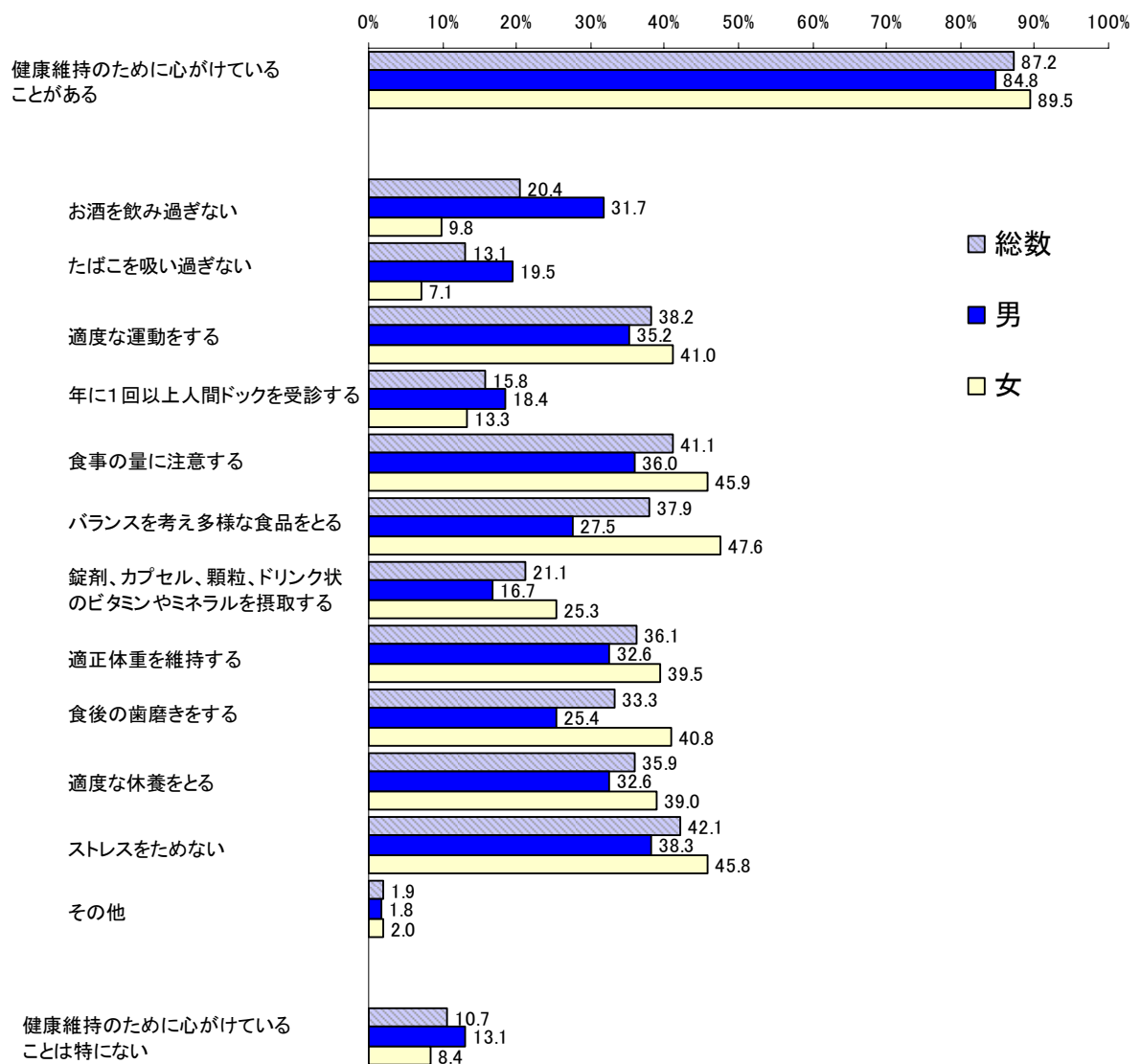
「日頃健康維持のために心がけていることがある」は87.2%。

その内容をみると、「ストレスをためない」が42.1%と最も多く、次いで「食事の量に注意する」41.1%となっている。

性別にみると、男は「ストレスをためない」が38.3%と最も多く、次いで「食事の量に注意する」36.0%となっている。女は「バランスを考え多様な食品をとる」が47.6%と最も多く、次いで「食事の量に注意する」45.9%となっている。

また、「お酒を飲み過ぎない」、「バランスを考え多様な食品をとる」で男女差が20ポイントを超えている。(図3)

図3 性別にみた日頃健康維持のために心がけていること（複数回答）



Ⅲ 就業の状況

1 ふだんの収入になる仕事の状況

ふだん収入になる「仕事をしている」男は92.8%、女は67.5%。

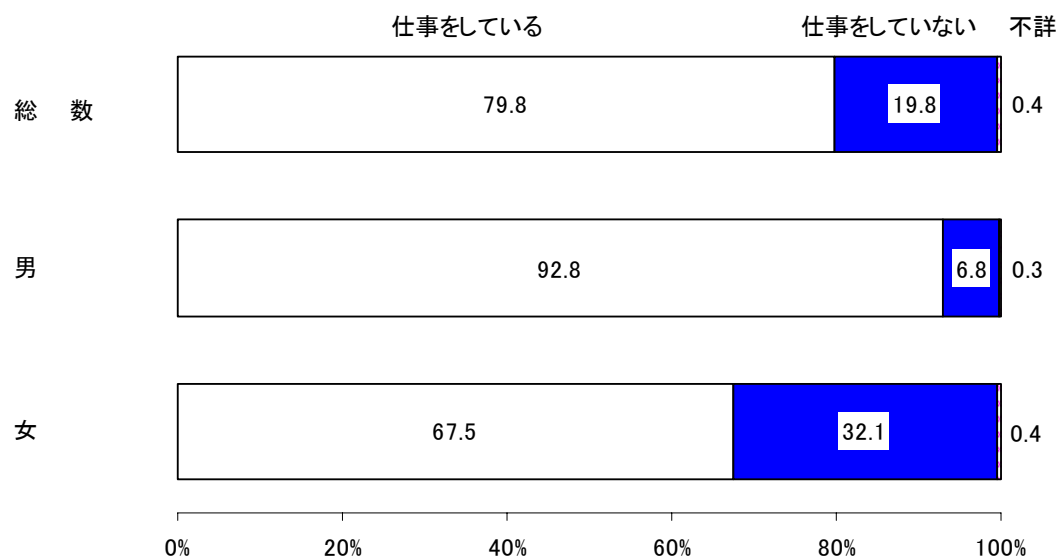
年齢階級別にみると、年齢階級の高い方が「仕事をしていない」の割合が高く、女の「55～59歳」が36.1%で最も高い。

性別に「仕事をしている」者の「仕事のかたち」の内訳をみると、「正規の職員・従業員」は、男では59.5%、女では26.4%、「パート・アルバイト」は、男では3.0%、女では40.9%となっている。(表6、図4)

表6 性、年齢階級別にみたふだんの収入になる仕事の状況

	総数	仕事をしている											仕事をしていない	不詳
		総数	自営業主	家族従業者	会社・団体等の役員	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	家庭での内職など	その他	不詳		
総数	100.0	79.8 (100.0)	12.3 (15.5)	4.6 (5.8)	4.9 (6.2)	36.0 (45.1)	15.6 (19.5)	0.5 (0.6)	3.3 (4.1)	0.8 (1.0)	1.5 (1.9)	0.3 (0.4)	19.8	0.4
50～54歳	100.0	83.0 (100.0)	11.2 (13.5)	4.6 (5.5)	4.5 (5.5)	39.6 (47.7)	16.7 (20.2)	0.5 (0.6)	3.3 (4.0)	0.8 (0.9)	1.5 (1.8)	0.3 (0.3)	16.7	0.3
55～59歳	100.0	77.1 (100.0)	13.3 (17.2)	4.7 (6.1)	5.2 (6.8)	32.9 (42.7)	14.5 (18.9)	0.4 (0.5)	3.3 (4.3)	0.8 (1.1)	1.6 (2.1)	0.3 (0.4)	22.5	0.4
男	100.0	92.8 (100.0)	20.0 (21.6)	0.7 (0.8)	8.0 (8.6)	55.3 (59.5)	2.8 (3.0)	0.5 (0.6)	3.4 (3.7)	0.0 (0.1)	1.7 (1.8)	0.4 (0.4)	6.8	0.3
50～54歳	100.0	94.3 (100.0)	18.7 (19.9)	0.8 (0.9)	7.3 (7.7)	59.9 (63.5)	2.3 (2.4)	0.6 (0.6)	2.7 (2.9)	0.0 (0.0)	1.6 (1.7)	0.3 (0.3)	5.5	0.2
55～59歳	100.0	91.6 (100.0)	21.1 (23.0)	0.6 (0.7)	8.6 (9.4)	51.3 (56.0)	3.2 (3.5)	0.5 (0.6)	4.0 (4.4)	0.1 (0.1)	1.7 (1.9)	0.4 (0.4)	8.0	0.4
女	100.0	67.5 (100.0)	5.1 (7.6)	8.3 (12.3)	2.0 (3.0)	17.8 (26.4)	27.6 (40.9)	0.4 (0.6)	3.2 (4.7)	1.5 (2.2)	1.4 (2.1)	0.2 (0.3)	32.1	0.4
50～54歳	100.0	72.4 (100.0)	4.2 (5.8)	8.1 (11.2)	2.0 (2.7)	20.4 (28.2)	30.4 (42.0)	0.5 (0.7)	3.8 (5.3)	1.4 (2.0)	1.4 (1.9)	0.2 (0.3)	27.3	0.3
55～59歳	100.0	63.4 (100.0)	5.9 (9.3)	8.5 (13.4)	2.0 (3.2)	15.6 (24.5)	25.3 (39.8)	0.3 (0.5)	2.6 (4.1)	1.5 (2.4)	1.5 (2.3)	0.2 (0.4)	36.1	0.5

図4 性別にみたふだんの収入になる仕事の有無



2 これまでの働き方

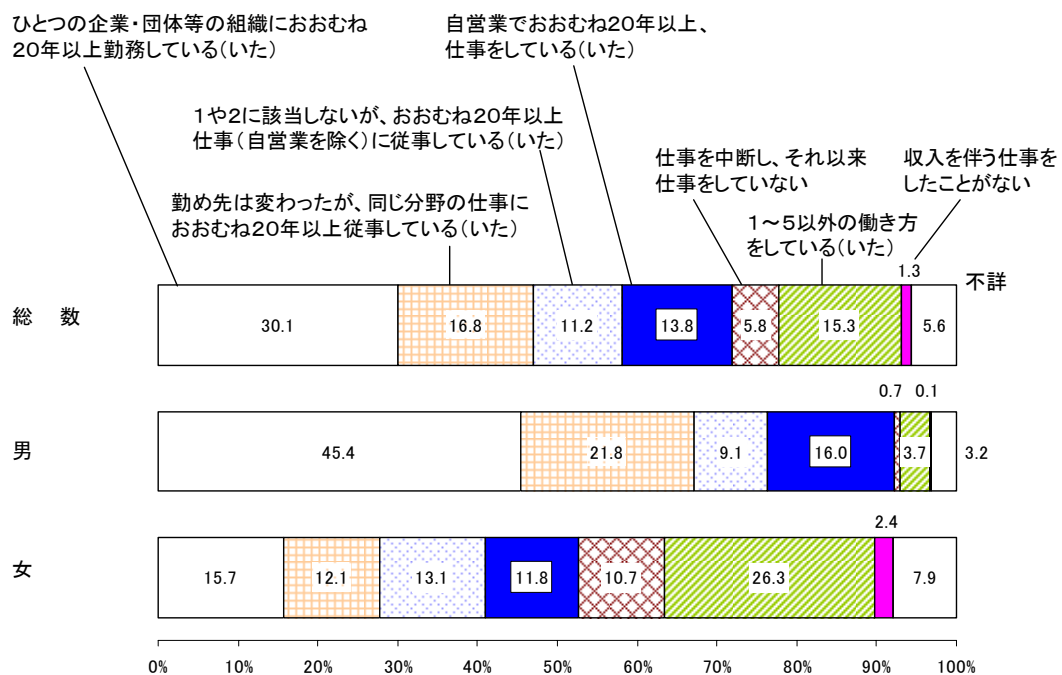
「ひとつの企業・団体等の組織におおむね20年以上勤務している(いた)」男は45.4%、女は15.7%。

「ひとつの企業・団体等の組織におおむね20年以上勤務している(いた)」が30.1%と最も多く、次いで「勤め先は変わったが、同じ分野の仕事におおむね20年以上従事している(いた)」16.8%となっている。(表7、図5)

表7 性、年齢階級別にみたこれまでの働き方

	総数	1 務織ひと しにと ておの むむ ね(2・ 0年 以上 の組 織)	2 た年分勤 〜以野め 上の先 従仕は 事事変 しにわ ておっ ておむ るむが い2同 0じ	3 る管お1 〜業むや (をね2 いた除0 〜)く年 に以し 従上な 事仕い してが い(お 自	4 た上自 〜営業 (を)で 仕事 をを おお むむ ねね 22 00 以以	5 事仕 をを 中中 断断 しし 、 そ れ 以 来 仕	6 い1 〜る (〜5 いた 〜)の 働 き 方 を し て	7 が 入 を 伴 う 仕 事 を し た こ と が な い	不 詳
総数	100.0	30.1	16.8	11.2	13.8	5.8	15.3	1.3	5.6
50〜54歳	100.0	29.8	17.3	10.9	11.7	5.8	18.1	1.1	5.4
55〜59歳	100.0	30.4	16.5	11.4	15.7	5.9	13.0	1.5	5.8
男	100.0	45.4	21.8	9.1	16.0	0.7	3.7	0.1	3.2
50〜54歳	100.0	45.7	22.5	9.7	13.8	0.8	4.4	0.2	3.0
55〜59歳	100.0	45.1	21.3	8.5	17.9	0.6	3.1	0.1	3.3
女	100.0	15.7	12.1	13.1	11.8	10.7	26.3	2.4	7.9
50〜54歳	100.0	14.8	12.4	12.1	9.6	10.6	30.9	1.9	7.6
55〜59歳	100.0	16.5	11.9	14.0	13.6	10.8	22.4	2.7	8.1

図5 性別にみたこれまでの働き方



3 資格、能力開発等の状況

(1) 仕事のための免許・資格取得の有無

今までに、「仕事のために免許・資格を取得したことがある」は44.4%。

性別にみると、「資格あり」の割合は、女に比べ、男の方が高くなっている。(表8)

表8 性、年齢階級別にみた仕事のための免許・資格取得の有無

(単位:%)

	総数	資格あり	資格なし	不詳
総数	100.0	44.4	51.6	4.0
50～54歳	100.0	45.2	51.3	3.5
55～59歳	100.0	43.8	51.9	4.3
男	100.0	56.6	39.6	3.8
50～54歳	100.0	56.5	40.2	3.3
55～59歳	100.0	56.7	39.1	4.2
女	100.0	32.9	63.0	4.1
50～54歳	100.0	34.5	61.8	3.7
55～59歳	100.0	31.6	63.9	4.4

(2) 取得した免許・資格の種類

仕事のために取得した免許・資格は、「運輸・通信関係」が最も多い。

今までに、仕事のために取得した免許・資格の種類をみると、「運輸・通信関係」が39.0%と最も多く、次いで「事務処理関係」26.7%となっている。

性別にみると、男では「運輸・通信関係」、「定置機関・建設機械運転・電気・建設・土木工事・その他関連」、女では「事務処理関係」、「医療・保健衛生・社会福祉」の割合が多くなっている。(表9)

表9 性、年齢階級別にみた仕事のために取得した免許・資格の種類(複数回答)

(単位:%)

	総数	技術関係	医療・保健衛生・社会福祉	事務処理関係	営業・販売・サービス・保安関係	運輸・通信関係	製造関連技能	定置機関・建設機械運転・電気・建設・土木工事・その他関連	海外・その他	不詳
総数	100.0	15.1	18.2	26.7	14.3	39.0	18.0	19.6	4.0	6.9
50～54歳	100.0	15.2	20.0	27.7	13.2	35.7	17.4	18.8	3.7	7.4
55～59歳	100.0	15.0	16.6	25.8	15.2	41.9	18.5	20.2	4.2	6.5
男	100.0	22.4	6.4	18.9	11.3	45.9	26.8	30.8	5.5	8.5
50～54歳	100.0	23.2	6.8	19.2	11.2	42.7	26.4	30.2	5.3	9.3
55～59歳	100.0	21.7	6.1	18.6	11.4	48.5	27.1	31.3	5.7	7.8
女	100.0	3.3	37.3	39.3	19.0	27.9	3.8	1.3	1.4	4.3
50～54歳	100.0	2.8	40.4	40.8	16.3	24.8	3.7	1.2	1.2	4.5
55～59歳	100.0	3.7	34.4	37.9	21.6	30.8	4.0	1.3	1.6	4.2

注：1) 集計対象は、仕事のために免許・資格を取得した者である。

2) 免許・資格の分類の詳細については、統計表 第3表を参照のこと。

(3) 仕事のための能力開発・自己啓発の状況

「仕事のための能力開発・自己啓発をした」は25.9%。

その内容をみると、「勤め先が開催する研修に参加した」が15.0%と最も多く、次いで「関係書籍を購読した」11.7%となっている。

能力開発・自己啓発をした者の割合を性別にみると、女に比べ、男の方が高く、年齢階級別にみると、「55～59歳」に比べ、「50～54歳」の方が高くなっている。(表10)

表10 性、年齢階級別にみた仕事のための能力開発・自己啓発の状況(複数回答)

	総数	(単位:%)									已仕事のための能力開発・自己啓発をした	不詳
		已仕事のための能力開発・自己啓発をした(複数回答・自己啓発)	勤め先が開催する研修に参加した	公共機関(学校を除く)に通った	大学や各種学校等の学校に通った	(団体・会社等民間の機関(学校を除く)に通った)	通信教育を利用した	関係書籍を購読した	その他	不詳		
総数	100.0	25.9	15.0	1.2	0.7	2.5	2.2	11.7	4.1	0.3	68.6	5.5
		(100.0)	(57.9)	(4.6)	(2.6)	(9.5)	(8.5)	(45.1)	(15.9)	(1.0)		
50～54歳	100.0	29.2	17.3	1.1	0.8	2.6	2.7	13.3	4.5	0.3	66.2	4.6
		(100.0)	(59.4)	(3.8)	(2.8)	(9.0)	(9.3)	(45.5)	(15.6)	(0.9)		
55～59歳	100.0	23.1	13.0	1.3	0.5	2.3	1.8	10.3	3.7	0.3	70.7	6.2
		(100.0)	(56.3)	(5.5)	(2.3)	(10.0)	(7.7)	(44.7)	(16.2)	(1.2)		
男	100.0	32.6	18.7	1.2	0.6	2.8	2.9	14.9	4.8	0.3	62.1	5.3
		(100.0)	(57.6)	(3.5)	(1.9)	(8.5)	(9.1)	(45.7)	(14.8)	(1.0)		
50～54歳	100.0	36.0	21.3	1.0	0.8	2.8	3.4	16.5	5.3	0.3	59.6	4.4
		(100.0)	(59.3)	(2.7)	(2.2)	(7.8)	(9.5)	(45.9)	(14.8)	(0.9)		
55～59歳	100.0	29.7	16.6	1.3	0.5	2.7	2.6	13.5	4.4	0.3	64.2	6.1
		(100.0)	(55.8)	(4.4)	(1.6)	(9.3)	(8.6)	(45.4)	(14.8)	(1.1)		
女	100.0	19.6	11.5	1.2	0.7	2.2	1.5	8.7	3.4	0.2	74.8	5.6
		(100.0)	(58.4)	(6.3)	(3.6)	(11.0)	(7.6)	(44.2)	(17.6)	(1.1)		
50～54歳	100.0	22.8	13.6	1.2	0.9	2.5	2.0	10.2	3.8	0.2	72.4	4.8
		(100.0)	(59.5)	(5.4)	(3.8)	(10.8)	(8.9)	(44.9)	(16.7)	(0.9)		
55～59歳	100.0	16.9	9.7	1.2	0.6	1.9	1.0	7.4	3.1	0.2	76.8	6.3
		(100.0)	(57.1)	(7.3)	(3.4)	(11.2)	(6.2)	(43.5)	(18.5)	(1.3)		

注:1年間(平成16年11月～平成17年10月)の状況である。

IV 60歳以降の生活設計

1 生活のまかない方（主なもの3つまで）

年齢が高くなるに従って、「公的年金」の占める割合が高い。

60歳以降の生活のまかない方をみると、「60～64歳」では「働いて得た所得（本人）」が51.6%と最も多く、「65～69歳」、「70歳以降」では「公的年金」が69.5%、71.9%と最も多くなっている。（表11）

表11 性、年齢階級別にみた60歳以降の生活のまかない方（主なもの3つまで）

	総数	働いて得た所得				資産収入	預貯金の 取り崩し	退職金	公的年金	私的年金	親族等か らの仕送り	その他	不詳
		総数	本人	配偶者	その他の 同居人								
60～64歳													
総数	100.0	66.9	51.6	22.4	2.0	3.9	22.9	21.5	32.1	12.9	0.4	5.9	6.9
50～54歳	100.0	66.8	51.6	23.0	1.9	3.7	23.0	23.8	26.3	12.4	0.4	6.3	7.0
55～59歳	100.0	67.0	51.5	21.8	2.2	4.1	22.7	19.6	37.1	13.4	0.3	5.6	6.8
男	100.0	70.3	68.8	6.3	1.3	4.4	19.7	28.0	28.1	10.5	0.2	6.7	6.4
50～54歳	100.0	70.3	68.8	6.9	1.3	4.1	19.6	30.0	23.7	10.0	0.3	7.1	6.5
55～59歳	100.0	70.3	68.8	5.7	1.4	4.6	19.9	26.4	31.8	11.0	0.2	6.5	6.3
女	100.0	63.7	35.3	37.6	2.7	3.4	25.8	15.3	35.9	15.2	0.5	5.2	7.3
50～54歳	100.0	63.6	35.3	38.1	2.5	3.3	26.3	17.9	28.6	14.7	0.5	5.5	7.5
55～59歳	100.0	63.9	35.2	37.1	2.9	3.6	25.4	13.2	42.1	15.7	0.5	4.9	7.2
65～69歳													
総数	100.0	30.2	21.5	9.9	2.1	4.0	23.9	12.3	69.5	16.9	0.4	4.5	14.4
50～54歳	100.0	31.7	22.7	10.5	2.0	3.8	24.5	13.8	69.9	17.5	0.4	4.9	11.8
55～59歳	100.0	29.0	20.4	9.5	2.2	4.1	23.5	11.1	69.1	16.4	0.4	4.1	16.7
男	100.0	33.0	31.0	3.0	1.4	4.6	21.7	15.6	69.1	14.6	0.3	5.1	13.4
50～54歳	100.0	35.1	32.9	3.3	1.4	4.3	22.4	16.7	68.8	15.1	0.3	5.5	11.3
55～59歳	100.0	31.3	29.3	2.8	1.4	4.8	21.1	14.7	69.3	14.1	0.3	4.7	15.2
女	100.0	27.6	12.5	16.5	2.9	3.4	26.0	9.2	69.8	19.1	0.6	3.9	15.4
50～54歳	100.0	28.5	13.1	17.3	2.7	3.3	26.4	11.0	70.9	19.8	0.5	4.3	12.3
55～59歳	100.0	26.8	11.9	15.8	3.0	3.5	25.7	7.7	68.9	18.5	0.6	3.5	18.0
70歳以降													
総数	100.0	19.7	12.1	6.2	3.1	4.2	25.0	9.8	71.9	16.0	0.8	5.0	15.9
50～54歳	100.0	20.5	12.8	6.3	3.1	4.1	25.5	10.9	73.0	17.1	0.8	5.5	13.1
55～59歳	100.0	19.1	11.5	6.2	3.1	4.3	24.5	8.9	71.0	15.1	0.7	4.5	18.3
男	100.0	20.4	17.7	1.6	2.4	4.8	22.5	12.2	72.5	14.5	0.5	5.7	14.8
50～54歳	100.0	21.5	18.5	1.7	2.5	4.6	23.3	12.8	73.0	15.5	0.6	6.1	12.4
55～59歳	100.0	19.5	16.9	1.6	2.3	4.9	21.8	11.7	72.1	13.6	0.5	5.3	16.9
女	100.0	19.1	6.9	10.6	3.8	3.6	27.3	7.6	71.3	17.5	1.0	4.4	16.9
50～54歳	100.0	19.6	7.5	10.5	3.7	3.6	27.6	9.1	73.0	18.5	1.1	5.0	13.7
55～59歳	100.0	18.8	6.5	10.6	3.8	3.6	27.1	6.3	69.9	16.6	0.9	3.9	19.7

2 仕事の希望

60歳以降も「仕事をしたい」は、70.9%。

60歳以降の仕事の希望の有無をみると、「仕事をしたい」70.9%、「仕事はしたくない」24.4%となっている。

性別にみると、「仕事はしたくない」の割合は、男に比べ、女の方が高くなっている。
(表12)

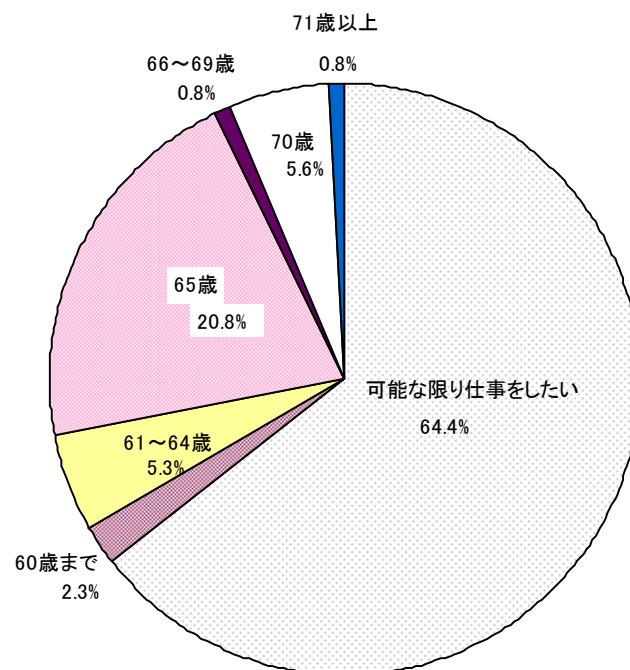
表12 性、年齢階級別にみた60歳以降の仕事の希望の有無

(単位:%)

	総数	仕事を したい	仕事は したくない	不詳
総数	100.0	70.9	24.4	4.6
50～54歳	100.0	71.2	24.4	4.4
55～59歳	100.0	70.7	24.5	4.8
男	100.0	82.1	14.0	4.0
50～54歳	100.0	82.0	14.1	3.9
55～59歳	100.0	82.1	13.9	4.0
女	100.0	60.4	34.3	5.3
50～54歳	100.0	61.0	34.1	4.9
55～59歳	100.0	59.9	34.5	5.5

「仕事をしたい」者について、いつまで仕事をしたいかをみると、「可能な限り仕事をしたい」が64.4%と最も多く、具体的な年齢を示した者の中では、「65歳」が最も多くなっている(図6)。

図6 「仕事をしたい者」のいつまで仕事をしたいかの状況



注：集計対象は、60歳以降も仕事をしたい者である。

V 社会活動等の状況

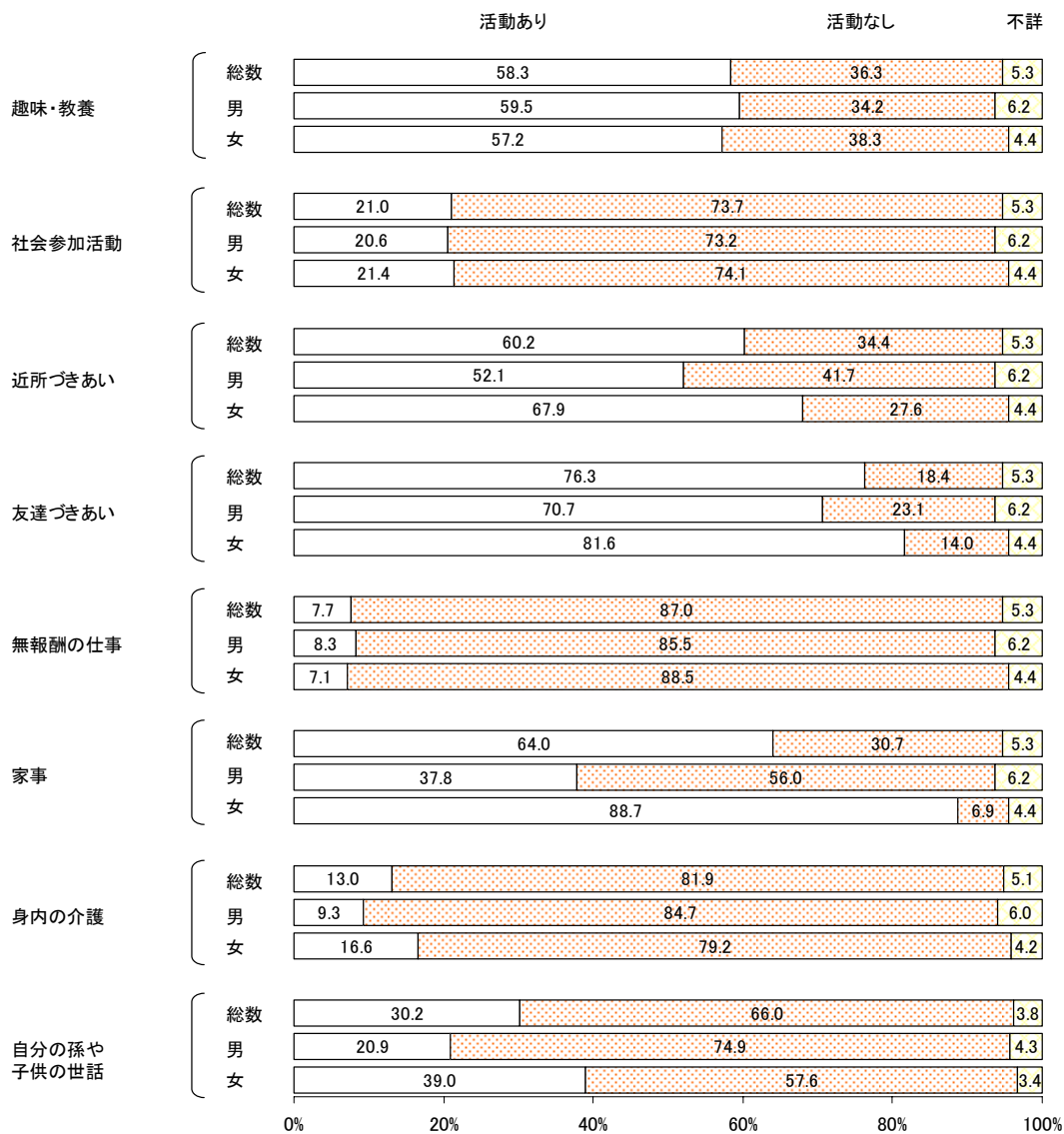
ふだんの活動の状況

「活動あり」の割合は、女に比べ、男の方が全体的に低く、特に「近所づきあい」、「家事」、「自分の孫や子供の世話」で、女との差が大きい。

「趣味・教養」、「近所づきあい」、「友達づきあい」、「家事」で「活動あり」の割合が5割を超えている。

性別にみると、「趣味・教養」、「無報酬の仕事」以外の「活動あり」の割合は、男に比べ、女の方が高くなっている。(図7)

図7 性別にみたふだんの活動の有無



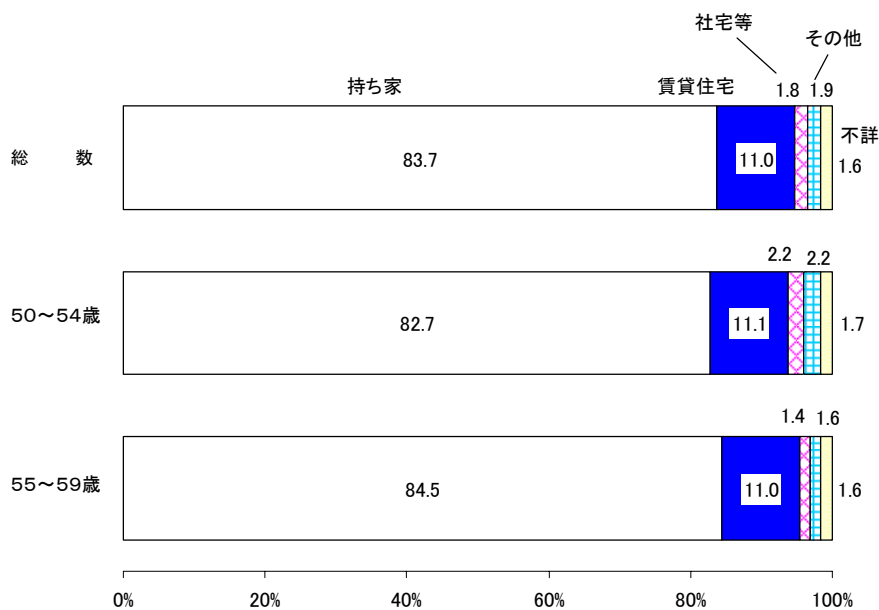
VI 住居の状況

1 住居の形態

「持ち家」が83.7%と最も多い。

年齢階級別に住居の形態をみると、「50～54歳」に比べ、「55～59歳」で「社宅等」の割合が低くなり、「持ち家」の割合が高くなっている。(図8)

図8 年齢階級別にみた住居の形態

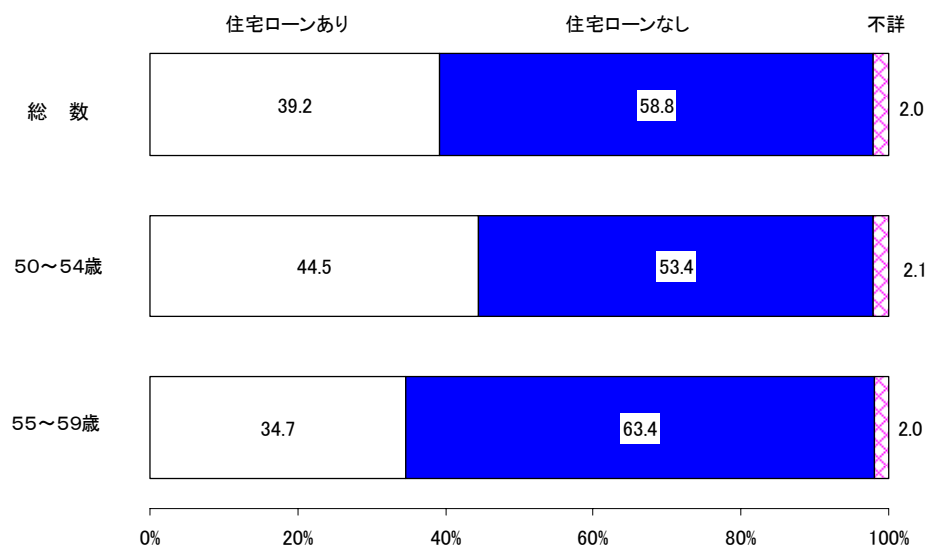


2 住宅ローンの有無

「住宅ローンあり」は39.2%、「住宅ローンなし」は58.8%。

年齢階級別にみると、「50～54歳」に比べ、「55～59歳」で「住宅ローンなし」の割合が高くなっている。(図9)

図9 年齢階級別にみた住宅ローンの有無



注：集計対象は、住居の形態が「持ち家」の者である。

統計表

第1表 性、年齢階級別にみた集計客体

(単位:%)

	総数	男	女
	(100.0)	(48.5)	(51.5)
総数	100.0	100.0	100.0
50～54歳	46.0	45.9	46.0
55～59歳	54.0	54.1	54.0

第2表 性、年齢階級別にみた健康維持のために心がけていること（複数回答）

(単位:%)

	総数	健康維持のために心がけていること													健康維持のために心がけていない	不詳
		とがある(複数回答)	お酒を飲み過ぎない	たばこを吸い過ぎない	適度な運動をする	年に1回以上人間ドックを受診する	食事の量に注意する	バランスを考え多様な食品をとる	錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルを摂る	適正体重を維持する	食後の歯磨きをする	適度な休養をとる	ストレスをためない	その他		
総数	100.0	87.2	20.4	13.1	38.2	15.8	41.1	37.9	21.1	36.1	33.3	35.9	42.1	1.9	10.7	2.1
		(100.0)	(23.5)	(15.1)	(43.8)	(18.1)	(47.1)	(43.4)	(24.2)	(41.4)	(38.2)	(41.2)	(48.3)	(2.2)		
50～54歳	100.0	86.3	19.9	12.5	35.7	15.7	38.9	35.8	20.8	34.9	31.6	36.1	41.4	2.0	11.7	2.0
		(100.0)	(23.0)	(14.5)	(41.3)	(18.2)	(45.1)	(41.5)	(24.1)	(40.5)	(36.6)	(41.9)	(48.0)	(2.3)		
55～59歳	100.0	87.9	20.9	13.6	40.3	15.9	42.9	39.6	21.4	37.1	34.8	35.7	42.8	1.8	9.9	2.2
		(100.0)	(23.8)	(15.5)	(45.9)	(18.1)	(48.8)	(45.0)	(24.3)	(42.2)	(39.6)	(40.6)	(48.7)	(2.1)		
男	100.0	84.8	31.7	19.5	35.2	18.4	36.0	27.5	16.7	32.6	25.4	32.6	38.3	1.8	13.1	2.1
		(100.0)	(37.4)	(23.0)	(41.5)	(21.8)	(42.4)	(32.5)	(19.7)	(38.4)	(30.0)	(38.5)	(45.2)	(2.1)		
50～54歳	100.0	83.4	30.4	18.6	33.7	18.2	34.0	25.3	15.7	31.7	24.2	32.4	37.3	1.9	14.5	2.0
		(100.0)	(36.4)	(22.3)	(40.4)	(21.8)	(40.8)	(30.3)	(18.9)	(38.0)	(29.0)	(38.9)	(44.8)	(2.2)		
55～59歳	100.0	85.9	32.9	20.2	36.4	18.7	37.6	29.4	17.5	33.4	26.4	32.8	39.1	1.7	11.9	2.2
		(100.0)	(38.3)	(23.6)	(42.4)	(21.7)	(43.8)	(34.2)	(20.4)	(38.8)	(30.8)	(38.2)	(45.5)	(2.0)		
女	100.0	89.5	9.8	7.1	41.0	13.3	45.9	47.6	25.3	39.5	40.8	39.0	45.8	2.0	8.4	2.1
		(100.0)	(11.0)	(8.0)	(45.8)	(14.9)	(51.3)	(53.2)	(28.3)	(44.1)	(45.6)	(43.6)	(51.2)	(2.3)		
50～54歳	100.0	89.0	10.0	6.8	37.6	13.3	43.5	45.7	25.6	38.0	38.6	39.6	45.2	2.1	8.9	2.0
		(100.0)	(11.2)	(7.7)	(42.2)	(14.9)	(48.9)	(51.4)	(28.8)	(42.7)	(43.4)	(44.5)	(50.8)	(2.4)		
55～59歳	100.0	89.8	9.7	7.4	44.0	13.3	47.9	49.2	25.0	40.7	42.7	38.4	46.3	2.0	8.0	2.2
		(100.0)	(10.8)	(8.3)	(48.9)	(14.8)	(53.3)	(54.8)	(27.9)	(45.3)	(47.5)	(42.8)	(51.5)	(2.2)		

第3表 性別にみた仕事のために取得した免許・資格の種類（複数回答）

(単位:%)

	総数	男	女		総数	男	女
総 数	100.0	100.0	100.0				
技術関係	15.1	22.4	3.3	製造関連技能	18.0	26.8	3.8
農林水産技術者	0.8	1.1	0.2	金属材料製造関連技能	0.3	0.5	-
食品技術者	0.9	0.8	1.1	化学製品製造関連技能	10.3	15.6	1.6
鉱工業技術者	3.7	5.9	0.2	窯業土石製品関連技能	0.0	0.0	0.0
建設関係技術者	3.6	5.4	0.6	金属加工関連技能資格	0.8	1.3	-
土木・測量技術者	4.1	6.1	0.7	金属溶接熔断関連技能	5.3	8.5	0.2
情報処理関係技術者	0.7	1.0	0.2	一般機械組立修理関連	1.2	1.9	0.0
その他の技術者	4.4	6.8	0.5	電気電子機器組立関連	0.4	0.7	-
医療・保健衛生・社会福祉	18.2	6.4	37.3	輸送機械組立修理検査	2.5	4.0	0.2
医師等	1.4	1.5	1.3	計器光学機器組立修理	0.1	0.2	0.1
保健師等	3.4	0.1	8.7	飲食料品製造関連	0.3	0.2	0.3
医療技術職	1.0	0.7	1.5	紡織染色縫製関連技能	0.6	0.0	1.5
栄養士	1.0	0.1	2.6	木竹草つる紙製品関連	0.2	0.3	-
物療専門職	0.3	0.3	0.3	印刷製本関連技能資格	0.0	0.1	0.0
その他の医療専門職	1.9	2.6	0.8	プラスチック製品技能	0.1	0.1	-
社会福祉専門職	10.5	1.5	25.0	定置機関・建設機械運転・電気・	19.6	30.8	1.3
事務処理関係	26.7	18.9	39.3	建設・土木工事・その他関連			
法務関連専門職	0.2	0.3	0.1	装身具等製造関連技能	0.0	0.0	-
経営関連専門職	1.6	2.2	0.6	その他の製造制作関連	0.6	0.7	0.3
幼稚園・学校教諭免許	6.5	2.7	12.6	定置建設機械運転関連	13.4	21.3	0.5
博物館・図書館専門職	0.5	0.1	1.1	電気作業関係	3.9	6.3	0.2
専修・各種学校教員	1.0	1.1	0.8	採掘関連技能資格	0.7	1.2	0.0
スポーツ等指導者	0.4	0.3	0.6	建設工事関連技能資格	2.1	3.4	0.1
美術・音楽関連	1.0	0.1	2.4	設備内装工事関連技能	2.0	3.2	0.1
カウンセリング関連	0.3	0.2	0.5	その他の建築工事	1.6	2.6	-
不動産関連専門職	2.2	2.9	1.1	土木舗装線路工事関連	0.4	0.6	-
翻訳・語学技能	1.1	0.8	1.6	運搬労務・その他技能	1.1	1.6	0.2
秘書技能	0.2	0.0	0.5	海外・その他	4.0	5.5	1.4
筆記技能	0.7	0.1	1.6	海外資格関連	0.0	0.0	-
会計事務処理技能	6.4	2.2	13.1	その他の免許資格	3.9	5.5	1.4
専門的事務処理技能	6.0	5.4	6.9	不詳	6.9	8.5	4.3
OA機器操作技能	1.7	0.4	3.8				
能開コンピュータ技能	0.0	0.0	0.1				
ビジネスキャリア制度	0.0	0.0	0.0				
商品販売関連技能資格	2.3	2.9	1.3				
販売類似職業関連技能	1.0	1.2	0.6				
営業・販売・サービス・保安関係	14.3	11.3	19.0				
サービス関連技能資格	3.8	1.2	8.0				
飲食物関連技能	6.3	3.8	10.5				
保安関連免許資格	4.3	6.3	1.1				
農業関連技能資格	0.2	0.3	0.1				
運輸・通信関係	39.0	45.9	27.9				
鉄道(軌道)運転免許	0.2	0.2	0.0				
車両運転船舶運転免許	37.4	44.4	26.1				
航空機運転免許	0.0	0.1	-				
通信関連免許	3.0	3.4	2.4				

注:集計対象は、仕事のために免許・資格を取得した者である。

第4表 性、年齢階級別にみた60歳以降の仕事の希望の状況

(単位:%)

	総数	仕事をしたい			仕事はしたくない	不詳
		総数	可能な限り 仕事をしたい	～～歳まで 仕事をしたい		
総数	100.0	70.9	45.7	25.2	24.4	4.6
50～54歳	100.0	71.2	48.8	22.3	24.4	4.4
55～59歳	100.0	70.7	43.0	27.7	24.5	4.8
男	100.0	82.1	50.5	31.6	14.0	4.0
50～54歳	100.0	82.0	53.1	28.9	14.1	3.9
55～59歳	100.0	82.1	48.3	33.8	13.9	4.0
女	100.0	60.4	41.1	19.3	34.3	5.3
50～54歳	100.0	61.0	44.8	16.2	34.1	4.9
55～59歳	100.0	59.9	38.0	21.9	34.5	5.5

第5表 性、年齢階級別にみたふだんの活動の有無

(単位:%)

	総数	趣味・教養			社会参加活動			近所づきあい			友達づきあい		
		あり	なし	不詳	あり	なし	不詳	あり	なし	不詳	あり	なし	不詳
総数	100.0	58.3	36.3	5.3	21.0	73.7	5.3	60.2	34.4	5.3	76.3	18.4	5.3
50～54歳	100.0	58.5	36.6	5.1	21.5	73.4	5.1	59.3	35.7	5.1	76.5	18.4	5.1
55～59歳	100.0	58.4	36.1	5.5	20.6	73.9	5.5	61.1	33.4	5.5	76.1	18.4	5.5
男	100.0	59.5	34.2	6.2	20.6	73.2	6.2	52.1	41.7	6.2	70.7	23.1	6.2
50～54歳	100.0	60.0	34.3	5.7	21.5	72.8	5.7	51.0	43.3	5.7	70.3	24.0	5.7
55～59歳	100.0	59.2	34.1	6.7	19.9	73.4	6.7	53.1	40.3	6.7	71.0	22.4	6.7
女	100.0	57.2	38.3	4.4	21.4	74.1	4.4	67.9	27.6	4.4	81.6	14.0	4.4
50～54歳	100.0	56.8	38.7	4.5	21.6	73.9	4.5	67.1	28.5	4.5	82.3	13.2	4.5
55～59歳	100.0	57.6	38.0	4.4	21.3	74.3	4.4	68.7	26.9	4.4	80.9	14.6	4.4
	総数	無報酬の仕事			家事			身内の介護			自分の孫や子供の世話		
		あり	なし	不詳	あり	なし	不詳	あり	なし	不詳	あり	なし	不詳
総数	100.0	7.7	87.0	5.3	64.0	30.7	5.3	13.0	81.9	5.1	30.2	66.0	3.8
50～54歳	100.0	8.9	86.1	5.1	65.4	29.5	5.1	12.4	82.7	4.9	32.3	64.1	3.5
55～59歳	100.0	6.7	87.8	5.5	62.8	31.7	5.5	13.6	81.2	5.3	28.4	67.6	4.0
男	100.0	8.3	85.5	6.2	37.8	56.0	6.2	9.3	84.7	6.0	20.9	74.9	4.3
50～54歳	100.0	9.0	85.3	5.7	39.3	55.0	5.7	9.2	85.4	5.4	22.7	73.7	3.7
55～59歳	100.0	7.8	85.6	6.7	36.5	56.8	6.7	9.4	84.2	6.5	19.3	75.9	4.8
女	100.0	7.1	88.5	4.4	88.7	6.9	4.4	16.6	79.2	4.2	39.0	57.6	3.4
50～54歳	100.0	8.8	86.8	4.5	89.9	5.6	4.5	15.4	80.3	4.3	41.5	55.1	3.4
55～59歳	100.0	5.7	89.9	4.4	87.6	8.0	4.4	17.5	78.4	4.1	37.0	59.7	3.3

用語の定義

1 調査対象

平成17年10月末時点で50～59歳（昭和20年11月～昭和30年10月生まれ）の男女

2 「配偶者以外の同居者」、「同居していない親族」

「親」とは、自分の父母及び配偶者の父母のことをいう。

3 「病気やけがの治療のための費用」、「健康の維持のための費用」

(1) 「病気やけがの治療のための費用」とは、次のような費用が含まれる。

- ・ 病院や診療所等で支払った費用
（医療保険の自己負担分、差額ベッド代等の保険適用外費用等）
- ・ 保険薬局で支払った費用（医療保険の自己負担分等）
- ・ 市販の薬や包帯等

(2) 「健康の維持のための費用」とは、次のような費用が含まれる。

- ・ 人間ドックや健診（健康診断や健康診査）等の受診費用
- ・ 予防接種（インフルエンザ等）の費用
- ・ 健康の保持・増進を目的としたスポーツジムの入会金や利用料金等
- ・ 錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルなどの購入代等

4 「ふだんの収入になる仕事」

(1) 「仕事をしている」とは、ふだん仕事をしていて、今後も仕事をしていくことになっている場合をいう。

(2) 「仕事をしていない」とは、パート・アルバイト、内職等も全くしていない場合をいう。

5 「仕事のかたち」

(1) 「自営業主」とは、個人経営の商店主・工場主・農業主等の事業主や開業医・弁護士・著述家・行商従事者等をいう。

なお、法人組織（株式・有限・合資・合名の各会社）になっている商店の経営者の場合は、「会社・団体等の役員」としている。

(2) 「家族従業者」とは、農家や個人商店等で農作業や店の仕事等を手伝っている家族をいう。

(3)「会社・団体等の役員」とは、会社の社長・取締役・監査役、団体の理事（長）・監事、公団や事業団の総裁・理事等をいう。

なお、部長、課長等のいわゆる管理職の場合は、理事等の役員になっていなければ、含まれない。

(4)「正規の職員・従業員」とは、会社・団体・官公庁・個人商店等に雇用期間の定めなく雇われている人をいう。

(5)「パート・アルバイト」とは、就業時間や日数に関係なく、勤務先で「パートタイマー」「アルバイト」または、それらに近い呼称で呼ばれている人をいう。

(6)「労働者派遣事業所の派遣社員」とは、労働者派遣法に基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいう。

(7)「契約社員・嘱託」とは、専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用されている人や雇用期間の定めのある人、労働条件や契約期間に関係なく、勤務先で「嘱託職員」または、それに近い呼称で呼ばれている人をいう。

(8)「家庭での内職など」とは、家庭で賃仕事をしている人をいう。

(9)「その他」とは、(1)～(8)以外の人をいう。

6 「これまでの働き方」とは、学校を卒業（または中退）後、初めて就いた仕事から数え、学生時代のアルバイトは含めない。

(1)「2 勤め先は変わったが、同じ分野の仕事におおむね20年以上従事している（いた）」とは、例えば、看護師等をしていて20年勤めているが、その間、勤め先（病院等）が何回か変わった場合をいう。

(2)「5 仕事を中断し、それ以来仕事をしていない」とは、大きな理由（育児・介護・病気等）のために仕事をやめ、その後現在まで働いていない場合をいう。

7 「仕事のための能力開発・自己啓発の方法」

(1)「公共機関（学校を除く）に通った」とは、公共職業訓練機関（例：都道府県立の職業訓練校等）に通った場合や、都道府県や市区町村が開催する講座等に通った場合をいう。また、雇用能力開発機構等の独立行政法人が開催した場合も含む。

(2)「大学や各種学校等の学校に通った」とは、学校教育法に定める学校（大学、短大、専門学校、専修学校等）に通学した場合をいう。

(3)「団体・会社等民間の機関（学校を除く）に通った」とは、財団法人や社団法人、商工会議所、農協、人材ビジネス会社等が開催する講座等に通った場合をいう。

8 「ふだんの活動」のうち、「無報酬の仕事」とは、民生委員、児童委員、保護司、PTA役員等、報酬のない仕事のことをいう。

9 住居

(1)「持ち家」とは、その世帯が所有する住宅をいう。
また、親名義の家に住んでいる場合や子名義の家に住んでいる場合も含む。

(2)「社宅等」とは、勤務先の会社・官公庁や雇い主等が管理している住宅（独身寮を含む。）をいう。